

一人暮らし高齢者事業

～邪気を払って
福を呼び込もう～

年明けから続く新型コロナウイルス感染症の急拡大により、今年度も一人暮らし高齢者保養事業の実施が難しく、自粛生活から高齢者の健康状態も懸念されるため、一人ひとりの様子をうかがいました。また、年中行事も大勢で楽しむ事が難しくなっていることから、節分の日職員が鬼となり訪問し、季節の行事を楽しんでいただき、心身ともにリフレッシュしていただくことを目的に昨年度同事業を利用された方を対象に実施しました。



鬼がお弁当と福豆セットを届けにうかがうと「節分を忘れていたよ」「かわいい鬼が来てくれてうれしい」「またみんなと旅行に行けるといいな」「みんなも元気かな」「もう少し元気でいなきゃね」などお話を聞くことができました。

2月16日南小学校の福祉教育の一環でシドニーパラリンピック車椅子バスケットのメダリスト塚本京子氏を講師に迎え、交通事故に遭った後の生活やリハビリ、車椅子バスケットとの出会い等についてお話いただきました。

今回は新型コロナウイルス感染予防のため競技用車椅子の操作方法を説明いただきその後、試乗体験をさせていただきました。

福祉教育 車椅子バスケット



また、シドニーパラリンピックの貴重な銅メダルを子ども達に触れさせていただき、子ども達は、初めて見て触れるメダルに感動している様子でした。

最後に、塚本先生に子ども達から質問や感じたことを緊張しながらも自分の言葉で伝えることができ有意義な時間となったようです。

